

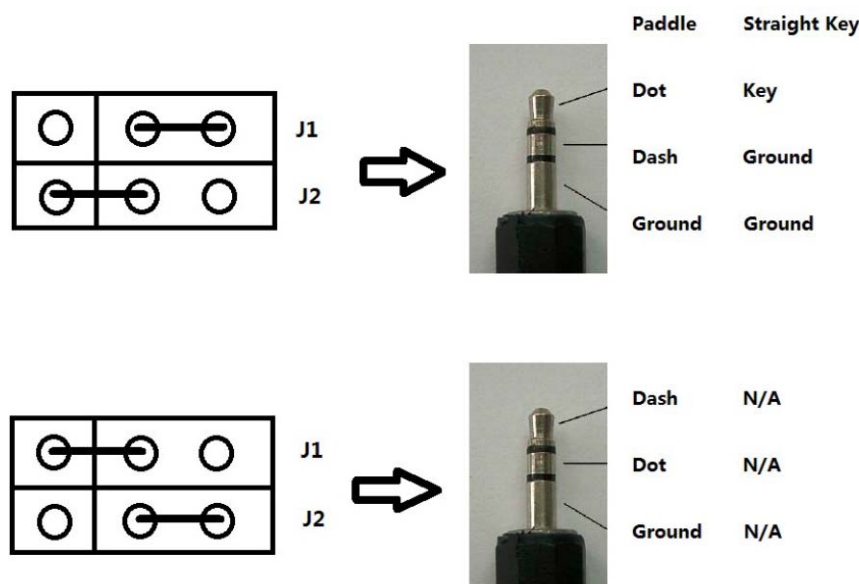
CRK-10 CW トランシーバキット: 1ページクイックガイドRev. A

CRK-10キットのご購入まことにありがとうございます。本キットに関するご相談は bd6cr@crkits.com またはYahoo group http://groups.yahoo.com/group/CHINA_QRP/ にて対応いたします。国内頒布に関するご質問はJL1KRA mx6s@ybb.ne.jpまでお知らせください。

クイックマニュアルは完全版マニュアルと異なり、重要事項とキット組み立てに関する注意点を説明するものです。ステップバイステップ方式による完全版マニュアルは <http://crkits.com/crk10manual.pdf> 日本語版は以下のURLからダウンロードしてください。
<http://www.geocities.jp/mx6s/bd6cr/crk10manual-Japanese.pdf>

部品チェック: 本キットの多くの部品はSMD表面実装部品としてあらかじめ工場出荷時に基板にハンダ付けされています。ご購入いただいた方はボタンやコネクタを含む約20個のリード部品を取り付けます。完全版マニュアルにて部品表を参照してください。

組み立て時の注意: J1 および J2 ジャンパはKEYジャックに接続するパドルの dot と dash を変更するのに用います。下の接続図を参照してください。ストレートキーは片方の設定のみにて動作します。ケース組込時のため、DC INコネクタは中心のピン2本のみをハンダ付けし、サイドにある端子はハンダ付けしません。2SC1162 トランジスタをネジで取り付ける前にリアパネルに導電シートを貼り付けるのを忘れないようにしてください。



調整: 回路保護機能のある 12~13.8V 安定化電源をCRK-10に接続し受信時に15mAの電流が流れることを確認します。電源を外し、ヘッドフォン、パドル、アンテナまたはダミーロードを接続します。次に再度電源を接続すると (・ー) dot dash音を聞くことが出来るはずですが。アンテナコネクタをピンセットで触れ何らかのクリック音が聞こえれば受信部が機能している確認となります。次に送信部の調整に進み、送信時の全電流が約500mAになることを確認してください。市販のトランシーバを指定する周波数に設定して送信し、C24を調整、受信トーンが700-800Hzとなり大きくクリアに聞こえるようにします。次にC23を調整し送信周波数が指定周波数に一致するようにします。